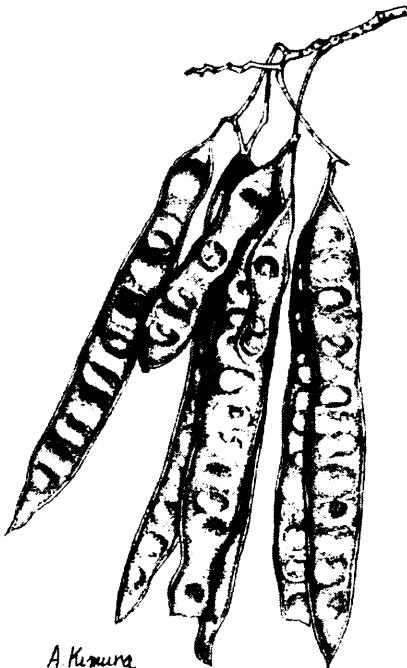


協議会ニュース 148号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2015. 9



ネムノキの実 木村 純子 (尾張支部)

【ご案内】生物（昆虫）分類研修会 「新指導員歓迎会&協議会交流の日」 のご案内	事務局	石原 則義2
	尾張支部	齋竹 善行3
【報 告】あいちの自然観察会（5/6 名古屋） 研修：晩春の茶臼山に花を求めて 研修：中池見湿地研修会 研修：美濃飛騨の自然をたずねて	名古屋支部	滝田 久憲4
	東三河支部	天野 保幸5
	名古屋支部	浅井 聰司6
	知多支部	牧野 靖子7
【連 載】私の活動紹介 世界のインテリテーション 第3話 アイスランドの自然観察	尾張支部	木村眞一郎8
	東三河支部	中西 正9
【理事会報告】平成27年 第2回理事会 // 第3回理事会	事務局	石原 則義10
		11
行事案内 / 編集部から		12

生物（昆虫）分類研修会

●日 時：2015年10月12日（月・祝）13:30～16:20（受付13:15～）

●場 所：愛知県女性総合センター（ウイルあいち）2F 特別会議室
名古屋市東区上堅杉町1 【連絡先】052-962-2510
地下鉄「市役所」駅
2番出口より東へ徒歩約5分

●研修会

第一部（13:30～15:10）

講 師：苅部 治紀 氏
(神奈川県立生命の星・
地球博物館・主任学芸員)
テーマ：日本産トンボ類



最新の分類体系と深刻化する水辺の外来種問題

（苅部治紀氏のプロフィール）

神奈川県生まれ。東京農業大学大学院修士取得。高知県中村市立四万十トンボ自然館で学芸員を務め、その後神奈川県立生命の星・地球博物館主任学芸員。研究課題は、東南アジアのトンボ類の系統分類、トンボ類、ゲンゴロウ類などの稀少水生昆虫の保全、水辺の外来種問題などに取り組んでいる。

講演要旨

最近の研究成果から、DNA解析結果を取り入れた日本産トンボの分類の進展（日本産オニヤンマは二種だった！）、20年以上取り組んできたオガサワラシジミ、オガサワラハンミョウなどの小笠原の絶滅危惧の固有昆虫の保全と外来種管理の進展、水生昆虫の危機的状況と外来種問題などについてお話しします。水辺の生き物にとってはもっとも恐ろしい外来種であるのに、認識が甘いままでのアメリカザリガニについては特に詳しく紹介します。

外来種の駆除の実践も各地で展開していますが、それぞれの現場での苦労や成功・失敗の事例も共有していきたいと思っています。

第二部（15:30～16:20）

講 師：水野 利彦 氏 栄徳高校 教諭（知多支部）
テーマ：虫あれこれ—こんな虫がいる

●研修会終了後、講師を囲んで懇親会を行います。

〔詳しくは同封のチラシをご覧ください。〕



「新指導員歓迎会＆協議会交流の日」のご案内

恒例の「協議会交流の日」ですが、今年は8月29日・30日開催の自然観察指導員講習会を受講され、新たに指導員となった方が協議会の会員となりますので、「新指導員歓迎会」を兼ねて次のように開催します。お気軽にご参加ください。

1 日時 11月23日（月・祝） 10:00～15:00

2 場所 犬山市栗栖地区

10:00 名鉄犬山駅東口に集合、10:29 発のコミュニティバスで寂光院まで移動（1日券200円）

3 プログラム

（1）自然観察ハイキング 10:45～12:00

コース：寂光院（紅葉の名所）→桃太郎公園（木曽川河原）→犬山市野外活動センター

（2）昼食 12:00～13:45

場所：犬山市野外活動センター付近

（弁当を持参してください。炊事棟が確保できれば豚汁を提供します。）

（3）交流会 13:45～15:00

場所：犬山市野外活動センター付近

内容：参加者自己紹介、支部紹介など

4 申込み・問い合わせ先（担当は尾張支部）

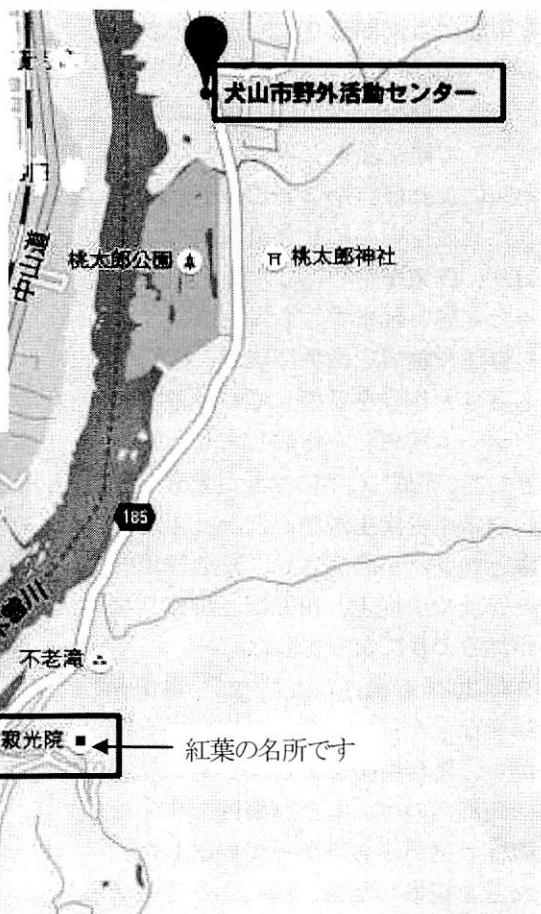
11月17日までに電話/Fax又はeメールで申し込んでください。

齋竹善行（電話/Fax 0587-37-7616、eメール owari.shizenkantsukai@gmail.com）

＜注意＞

○野外活動センターは8/23から申込受付のため原稿作成時は未予約であり、今後変更の可能性あり。

○11月は紅葉シーズンで交通渋滞が予想されます。公共交通機関をご利用ください。（紅葉の時期だけ犬山遊園から寂光院まで無料のシャトルバスが運行される予定）



あいちの自然観察会報告

名古屋支部 滝田 久憲

日 時：平成 27 年 5 月 6 日(水、休)

午前 9 時 30 分～12 時

場 所：荒池緑地、名古屋市農業センター
(名古屋市天白区平針)

参加者：14 名 (内、子ども 6 名)
名古屋支部 5 名、尾張支部 1 名
名古屋市環境局職員 1 名

今回の自然観察会の会場となった荒池緑地はかつての里やまの景観の残る場所で名古屋支部との関わりの深い場所です。平成 14 年 9 月には、ここにある名古屋市農業センターを中心に当支部設立 20 周年記念の自然観察会や講演会などが実施されました。またそれと前後するかのように故佐藤国彦氏がここで観察会を立ち上げました。

古い地図によれば、かつてこの地域は荒池というため池を中心とした田園地帯が広がっており、農業を中心とした人々のくらしがあったと思われます。名古屋市ではこの地域の資産や魅力を後世に残し、区民のためのふるさと作りを目指して、「荒池なごやかファーム構想」を作成しました。その一環として、平成 16 年には天白生涯学習センターの講座受講生が中心となって、荒池ふるさとクラブが設立され、荒池緑地内の竹林の管理や炭焼き、田んぼ、畑作りなどが行われるようになりました。

午前 9 時 30 分を過ぎたところで、参加者の自己紹介などをを行い、数々の出会いを期待しながら、集合場所をあとにしました。

最初に訪れたのは、しだれ梅園です。たくさんの梅の実がぶら下がっていました。梅の実などを観察した後、隣にある芝生広場に向かいました。さすが子ども達は身が

軽いです。木によじ登ったり、石で出来たモニュメントに登ったりして、大人をはらはらさせました。続いて、針名神社に行き、落ち葉の積もった林床に入り、土壤の生き物観察などを行いました。



▲土の生き物観察

その後、林縁沿いにできた散策路を進み、ふるさとクラブ会員の方の説明を聞きながら田んぼや畑、竹林などの生き物を観察しました。



▲田んぼの生き物観察

今回の観察会に参加して、改めて荒池緑地の魅力やその自然の多様を感じると共に、これを後世に残すための仕組みの大切さを感じました。

研修報告

晩春の茶臼山に花を求めて

日時：5月16日

場所：茶臼山（長野県側）

参加者：10名

東三河支部 天野 保幸

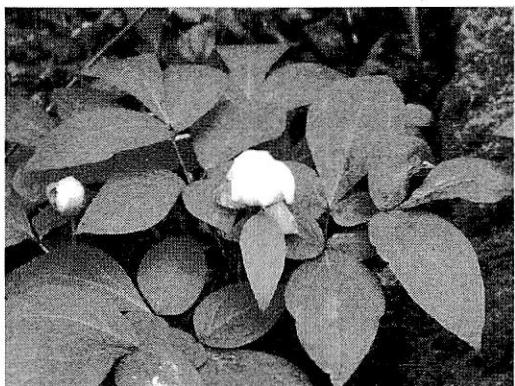
森の白い妖精との出会い

小鳥茶屋の下の駐車場に車を止め、午前の散策に出かけました。森の中に入りいつもの場所を目指してもなかなか目的の物に出会えません。以前は十数株の固まりが数カ所にあったのですが…

それでもよく見ると花をつけていない株があります。また、蕾も若干見られます。

数年前の盗掘からまだ回復していないのです。でも、蕾が大きく膨らんでいた株を写真に撮りました。

（白い妖精＝ヤマシャクヤクです）



白い妖精＝ヤマシャクヤク

小さな妖精との出会い

昼食後は小鳥の森へ！

ここでは終盤を迎えたイチョウランの花が迎えてくれました。

また、いつもの橋の所ではこれまた小さなコフタバランの花が、所々でギンリョウソウが満開の花で出迎えてくれました。

ここでもイチョウランの株が減少してきています。明らかな盗掘跡もあります。……なぜ？



小さな妖精＝コフタバラン

ここ茶臼山の周辺は愛知県内では数少ない冷温帯の植物層が容易に見られる貴重な場所になってきています。

この時期の茶臼山は観光客でいっぱいです。できれば避けたい時期ですがこの時期でないと出会えない植物があるので足を運ぶことが多くなります。

中池見湿地研修会報告

名古屋支部 浅井 聰司

日 時：平成 27 年 5 月 31 日(日)
場 所：中池見湿地（福井県敦賀市）
参加者：9 名

中池見湿地は、5～7万年前から形成された泥炭の上に成り立つ湿原で、泥炭層の厚さは 40m になります。この泥炭層は、尾瀬や八島湿原の高層湿原よりも厚いです。この成因は、周囲を山々で囲まれところに、巨大断層が天然のダムを作り、大きな凹地に形成されたためです。このような湿地は、全国でも珍しいです。また、この湿地は北西方向に開けているため、冬季に積雪があったり、寒気が流れ込んだりして、比較的寒冷であったためです。

5 月半ばというのに、暑い日が続いたためか、湿原の中ではすでに夏をうかがわせる景色が見られました。例年であれば、カキツバタが咲き誇っているはずですが、今年は咲き残った数輪しか見られず、ピンク色のノアザミが目立ち始めました。



▲カラスアゲハ♀とノアザミ

湿原内にある小さな田んぼでは、田植えが済んだあとに、オタマジャクシやキタメダカが泳ぎ回り、デンジソウやヒメビシ、サンカクイにカンガレイなどの湿地特有の

植物が見られました。しかし、管理の行き届かない湿地内は、ヨシやガマ、オギにマコモ等の高茎となる低層湿地の植物群に覆われ、20 年前の湿地の姿は失われていました。

中池見湿地では 72 種のトンボが確認されており、今回の観察では、アオモンイトトンボ、アジアイトトンボ、オオイトトンボ、クロイトトンボ、ギンヤンマ、クロスジギンヤンマ、コサナエトンボ、サラサヤンマ、シオカラトンボ、シオヤトンボ、ショウジョウトンボ、ハラビロトンボの 12 種のトンボが観察できました。野鳥も 32 種と多く確認されているにもかかわらず、実際見られたのは、ウグイスとオオヨシキリに限られ、この時期は野鳥の観察には向いていないようです。



▲ハラビロトンボ♀

また、湿地内には、高茎のヨシ、オギ、ガマ、マコモ、ススキなどが生い茂り、コモチマンテマ、ゴバンソウ、ヒメグンバイナズナなどの外来種も多く、湿地内の希少種をどのように保護してゆくかが課題であるように感じました。

研修報告

美濃飛騨の自然をたずねて

日時：6月6～7日

場所：美濃飛騨地方

参加者：14名



白山連峰をバックに記念撮影

＜石徹白大杉・白山中居神社＞

岐阜県郡上市白鳥の特別天然記念物「いとしろ大杉」は、樹齢1800年といわれる巨大な杉の古木。スギの観察も含め、ここではザゼンソウ、ミズバショウ等の湿性植物を観察。

「白山中居神社」では、境内の見事なスギ、ホウノキやトチの花などが見られました。

＜ひるがの高原 分水嶺公園＞

大日ヶ岳から流れてきた水がここで太平洋と日本海に分かれて流れていきます。クリンソウ、ミズバショウ、イチヤクソウ、エビネなどの花を観賞しました。

＜莊川 治郎兵衛のイチイ＞

こちらも国指定の天然記念物で樹齢2000年とも言われている巨樹。近くの水田では石垣に数匹のアオダイショウがいて、1m以上もあるきれいな抜け殻も手に入れることができました。水田の中にはたくさんのアカハライモリ。

知多支部 牧野 靖子

＜白川馬狩 大窪沼＞

2日目の朝5時出発で野鳥観察に向かいました。ツツドリ、オオルリ、ホトトギス、ウグイス等の声を確認。早朝の寒さの中で動きの鈍い昆虫などもじっくり観察できました。ジョウカイボン、チョッキリ、ガ、イモムシ類など。



早朝の大窪沼

＜飛騨高山 彦谷の里＞

手入れが行き届いた野草園で、ツクバネソウ、コケイラン、マムシグサ、ツルリンドウ、アミガサタケなど見て回りました。

＜猪臥山＞

山頂部は360度見渡せ絶景。ムラサキヤシオ、スノキ等の花も咲いていました。



ムラサキヤシオ

＜宇津江四十八＞

最後のポイント。時間の関係上ほとんどの方は途中まで。たくさんの滝を眺めマイナスイオンに包まれながら、散策を楽しみました。

私の活動紹介

尾張支部 木村 真一郎

主な活動は自然観察、森の整備、クラフト、趣味講座の受講となります。いろいろな活動を通し、多くの方々との交流を楽しんでいます。

尾張自然観察会の尾張北部観察会では、毎月第1土曜日に犬山市さら・さくら（犬山市民健康館）に集合し、観察地を定めず、その時期と場所を選び出かける、楽しい観察会に参加しています。また、森林公園、木曽川下流、善師野の観察会にも参加しています。

地元犬山市では木工グループ、巨樹古木グループ、森の整備に参加しています。

木工グループでは、月2回の定例作業でクラフト作製、毎年開催される「あつまれいぬやまっこ」では、市内の小学生を中心に250人から300人に丸太切りや各種工作を提供し、工作指導を行っています。

巨樹古木グループでは、市内にある樹木160本を調査しました。内65本に標示板を設置し、新調査方法に従い再調査をしています。また、八曾自然休養林にて、ふれあいの森グループに参加し、主に人工林のヒノキを間伐しています。作業は大変ハードですが、非日常の行為と作業であり、自然の中で緑を楽しんでいます。

また東大犬山研究林利用者協議会にも参加しています。定例は月2回で、林内の整備や調査、案内人として活動しています。ギフチョウの卵と幼虫の調査で4月は毎週調査に入りました。

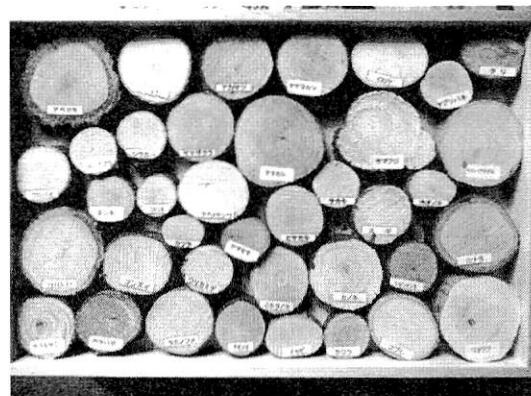
NPO東海自然学園では、多数の自然観察指導員も所属しております。私も一員として自然保護部に所属し、森林公園と瀬戸里山にて森の整備に参加しています。雑木林と竹藪を整備しており、植生調査や安全作業の方法、ロープワーク等の指導も行っています。

自然観察科では、座学の多かったレギュラーコースを卒業し、現地を中心の自然観察を月2回仲間と一緒に楽しんでいます。また、天白公園にて定例観察会（年4回）を行っています。

最後に、クラフトの紹介をします。

写真は樹木の断面標本です。A4サイズに35から38種が入っています。現在60種程の種類があります。

作製した作品は、シュロバッタ、ドングリの標本、竹のトンボやカニと小鳥、樹木スライスを利用した工作、クルミや木のストラップ等があります。



▲樹木の断面標本

連載 世界のインター・プリテーション

第3話 アイスランドの自然観察

東三河支部 中西 正

3. アイスランドの自然観察

レイキャビックの市街地は港の東方面。目的地は北側にある、914m のエスジャ山で、今回の目標は頂上まではいかず 700m のピークという。行程は 6.6km、3 時間 45 分のコースである。出発地になる麓にはレストランがあり、かろうじてトイレがあった。その前の広場にはノコギリソウ、ウツボグサ、シオガマギクなどいろいろ生えていて嬉しくなった。

現地ガイド、通訳する人、日本人ツアーリーダーと参加者 22 人。アクティブな人はガイドのそばに行こうとする。歩きながら日本で所属する会の活動を報告しあう人たちがいる。今までの登山歴を話す人もいたりする。会話は、参加者が互いに知りあう方法ではあるが、今は目の前の自然を楽しみたいものだ。

コース上には登山の目安になる、日本の何合目のような 10 個の標識が設置されている。その場所では必ず、それ以外でも頻繁に休む。イブキジャコウソウは下から上までコンスタントに出てきた。桃色のきれいな花を密にクッショニ状に着けている。最初から花に目を奪われ写真を撮っていて後尾になってしまった。休憩中に追いつき、またすぐ遅れる。登るときは高齢と思われる方と最後尾を争った。

大休止をとったのは第 3 ポイントを通り過ぎた場所で、沢があり橋がかけられている所だった。こここの水は飲めるから飲んでみろという。雪溶け水だから冷たくおいしい。周辺を概観すると、多くはがれ地になっている。その中で、植生が見られるのは沢沿いの斜面の所である。この休憩地周辺には特に多くの植物が見られた。

チングルマは花と種子があり、ワスレナグサやハタザオの仲間、ミヤマクワガタの仲間などがお花畠をつくっている。お花畠と言えば、本日のコース全体がお花畠だった。この場所はやや湿った場所で、多くは礫地の植生、それに湿地の植生が加わっている。礫地は基本的にコケや地衣類がつき、その間を植物が埋める。イブキジャコウソウが最も鮮やかに目立っている。白色の花はツメクサの仲間、といつても日本のものと比べると大きな花だ。ハタザオの仲間も花が大きい。青色の花はイヌノフグリの仲間かと思う。黄色や白色の小さな花が密生したものがある。このような岩の陰にはガシコウランが生えていた。

登山道ははっきりし、登りやすかった。ただ一部は谷側が削れて斜めになり、滑りやすくなっていた。ここではガイドが谷側に立って、我々が過ぎるのを待った。この行動からよく訓練されているガイドと推察した。自然に関する質問にもよく答えてくれた。傾斜が急な場所もあったが休憩が多いので余り気にならずに登れた。ただそのためか、予定では 700m 位までは登るとあったが、5 番地点の 600m が今回の最終点だった。参加者の中にはアイスランドにはもう来ないんだからピークまで登りたい、と言っている人もいた。しかし、行動の指揮（引率）は、はっきりしていた。



ガイドは谷側に立って誘導している

平成 27 年度 第 2 回理事会 報告

日 時：平成 27 年 5 月 6 日（水・祝）14:00～ 場 所：名古屋都市センター
出席者：大谷、降幡、石原、吉田、久米、森田、永田、布目、石川、浅井、堀田、
斎竹、南川、岩崎（代理）、河江

＜主な確認事項＞

◆活動報告（3月～5月）及び今後の事業予定（5月～7月）

◆自然観察指導員講習会

- ・日時：8月 29 日（土）～30 日（日）（1泊 2 日） 場所：犬山国際ユースホステル
・愛知県から、当日は観察会地元講師 10 名、運営補助 3 名の依頼あり。

◆生物分類研修会

- ・日時：10月 12 日（月・祝） 愛知県女性総合センター（ウィルあいち）
・講師は神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員の苅部氏に依頼。
・会員からも 2 人目の講師として発表してほしい。（今後調整予定）

◆タケの調査

- ・西三河分のデータが滝崎氏に届いていないので、送付するよう依頼。

◆協議会ニュース

- ・協議会ニュースの A4 サイズ化は、149 号（9月発行）分から対応する。
・150 号（12月発行）では、協議会ニュースを振り返る等の企画を検討中。

◆名簿管理

- ・協議会ニュース発送先について以下のとおり検討。
　愛知県自然環境課、愛知県調査センターなど新たに追加する。
　各顧問には事務局長が確認する。
　他県への発送は電子メールでどうか（第 3 回理事会で検討）

◆保険

- ・H26 年度の観察会の保険対象者数と保険料の納付状況が示され、未納の観察会担当者に支部から督促するよう依頼があった。

◆受託事業

- ・名古屋市立振甫中学校から知多支部に対し、豊田市稻武での自然観察ハイキング（10月 20 日（火））の指導員について依頼があった。依頼元は名古屋、フィールドとしては西三河であり、対応する人数も多いことから、県協議会として受託事業を受けることにした。

◆その他

- ・講習会受講以外の年度途中の入会者へは、事務局から協議会の規約等を送ることを確認。
- ・メナード美術館から「みどり図鑑」展の PR ちらしの配布協力依頼あり。当会として協力することとし、後日、ちらしを支部などに送ることになった。
- ・NACS-J の元理事だった「柴田敏隆さんを語る会」（9月 12 日に神奈川で開催）に協議会から電報を打つことを了解した。

＜次回 理事会（平成 27 年度 第 3 回）＞

日時：7月 20 日（月・祝）13:30～（尾張支部担当）

（記録：石原）

平成 27 年度 第3回理事会 報告

日 時：平成 27 年 7 月 20 日（月・祝）13:30～ 場 所：岩倉市生涯学習センター
出席者：大谷、降幡、星野、石原、辻、吉田、久米、森田、永田、布目、石川、瀧崎、
堀田、斎竹、滝田、南川、河江

＜主な確認事項＞

- ◆活動報告（5～7月）及び今後の事業予定（7月～11月）
- ◆自然観察指導員講習会（日本自然保護協会・愛知県主催、当会後援）
 - ・日時：8月 29 日（土）～30 日（日）（1泊 2 日） 場所：犬山国際ユースホステル貸切
 - ・6月 30 日（火）13:00～17:00 に実施した下見について報告
 - ・当日の運営について確認（当会の紹介、受講生との情報交換会、地元講師の打ち合わせなど）。当時は入会申込書、協議会ニュース、各支部のお知らせ持参。
- ◆生物分類研修会
 - ・日時：10月 12 日（月・祝）愛知県女性総合センター（ウィルあいち）
 - ・2人目の講師として、水野利彦氏（知多支部）にお願いした。
- ◆受託事業（豊田市稻武・自然観察ハイキング（名古屋市立振甫中学校））
 - ・日時：10月 20 日（火）午前中（1 時間 30 分～2 時間）
 - 場所：稻武第 1 本館から面ノ木園地まで（2.5km） 生徒数 170 余名
 - ・指導員 21 名派遣（指導員 1 名につき生徒 8～9 名）【詳細は同封のチラシ参照】
- ◆協議会ニュース
 - ・A4 サイズ化にあたり業者に見積もりをとった。（白黒・再生紙 21,500 円）
 - ・カラー印刷は白黒と比べ約 5 倍の費用がかかるため実現は難しい。
 - ・次号（12 月発行）に、今年度の指導員講習会後に加入する新会員の紹介掲載を検討。
- ◆名簿管理
 - ・協議会ニュースは前号（6 月発行）から、愛知県自然環境課、愛知県調査センター等へ新たに配布。顧問や他県等への対応は、引き続き次回の理事会で検討。
 - ・年会費【期限 7/31】の未納者について各支部長は次回理事会までに報告する。
- ◆平成 27 年度総会資料（決算／予算）の訂正版
 - ・協議会ニュース 6 月号に同封する予定だったが、今号に同封する。
- ◆会計
 - ・年会費や保険等の収納状況を各支部と確認・共有する必要あり。
 - ・帳簿の内容を再確認し、次回理事会で精査する。
- ◆故 佐藤國彦氏の資料の電子化について
 - ・電子化については尾張支部山田氏に一任したが、スキャナ故障のため作業中断
 - ・業者への発注を検討するため、資料の目録（内容及びページ数等）の作成を依頼。
- ◆その他
 - ・第 45 回愛知県野生生物保護実績発表大会から後援及び賞状の捺印依頼あり。
 - ・理事の任期は原則 3 期であり、来年の役員改選では相当数が交代となる。次回理事会でしっかりと人選を検討するよう要望が出された。

＜次回 理事会（平成 27 年度 第4回）＞

日時：11 月 29 日（日）13:30～（知多支部担当）

（記録：石原）

***** 行事案内 (9月~11月) *****

区分	日時	内容	場所	集合場所	担当
あいちの自然観察会	9/26(土) 17:00~20:00	月光浴と夜の自然観察	豊橋公園	豊橋市美術博物館正面玄関前付近	東三河
	11/7(土) 9:00~	紅葉と黄葉	面ノ木峠 (豊田市稻武)	面ノ木園地	西三河
研修会	10/31(土) 10:00~15:00	自然素材を使ったクラフト	春日井市少年自然の家 工作室		尾張

◆生物(昆虫)分類研修会

10/12(月・祝) 13:30~ 愛知県女性総合センター(詳細は同封のチラシをご覧ください。)

◆新指導員歓迎会&協議会交流の日

11/23(月・祝) 10:00~15:00 犬山市栗栖地区(詳細はp.3をご覧ください。)

***** 編集部から *****

◆協議会ニュースのサイズ変更(B5→A4)について

前号でもお伝えしたとおり、次号(平成27年12月発行:149号)から、協議会ニュースのサイズをA4に変更します。A4化にあたり、文字のサイズも10ポイントから12ポイントに変更しますので、よろしくお願ひいたします。

◆協議会ニュース150号企画について

平成28年3月発行予定の協議会ニュースは創刊から発行150回を迎えます。これを記念して150号では、協議会ニュース発行の歴史を振り返る企画を検討しています。

皆さんからも、協議会ニュースに関する思い出やコメントなどを募集しますので、お気軽に編集部までお知らせください。(メールアドレス:ni.saboten@gmail.com)

〈編集後記〉

次号から協議会ニュースをA4サイズでお届けします!

A4サイズ化にあたり、ついでに誌面のカラー化も目論んだのですが、印刷業者に見積もりをお願いしたところ、白黒の5倍もの値段になったので敢え無く断念しました。白黒とカラーでは、こんなにも価格に差があるのですね。びっくりしました。

皆さんからご提供いただく原稿では、写真等がカラーで本当にきれいなので、誌面でもそのままお見せできると良いと思ったのですが……。電子データでの配信も含め、今後の課題ですね。(久米)

編集スタッフ	岡田雅子 久米未祐 馬場隆之 日浦誠章
「協議会ニュース」 編集部	久米未祐 TEL:090-3302-1621 E-mail:ni.saboten@gmail.com

愛知県自然観察指導員連絡協議会(あいち自然観察会)事務局 石原則義

〒464-0096 名古屋市千種区下方町7-3 TEL/FAX:052-711-3087

E-mail:noriyoshibob@yahoo.co.jp Web Page: http://naichi.net

郵便振替口座:00820-9-6546(名義:愛知県自然観察指導員連絡協議会)

第2号議案 平成26年度収支決算報告 (H26年2月1日～H27年1月31日)

収入

科目	予算額	決算額	差引	決算/予算(%)	備考
会費	805,000	693,500	▲ 111,500	86%	会員354名十家族11名十前年度未納金
保険料	120,000	92,200	▲ 27,800	77%	保険料(観察会微収分@40円×2,437人分)
寄付金	2,000	51,360	49,360	2568%	保険代余剰金、4/29・10/13研修会講師謝金寄付(増田氏)、匿名1件
受託金	0	0	0		
雑収入	0	1,604	1,604		H26協議会加入事務負担金(500円×3名)、利息104円
前期繰越金	1,756,052	1,756,052	0	100%	
合計	2,683,052	2,594,716	▲ 88,336	97%	

支出

科目	予算額	決算額	差引	決算/予算(%)	備考
自然観察会費	120,000	97,480	▲ 22,520	81%	保険料(@40円×3,000人分=120,000円) 保険料返戻金(2,437人参加△22,520円)
調査費	20,000	0	▲ 20,000	0%	
研修会費	100,000	120,360	20,360	120%	4/29生物分類の研修会、10/13生物分類の研修会、ESD併設イベントに対応、協議会交流の日
機関誌作成費	360,000	315,942	▲ 44,058	88%	印刷代、送料、封筒・切手等
受託事業費	0	0	0		
事務費	295,000	221,858	▲ 73,142	75%	総会、理事会開催、HP運営、理事等事務費他
次期繰越金	1,788,052	1,839,076	51,024	103%	
合計	2,683,052	2,594,716	▲ 88,336	97%	

平成26年度収支決算報告について、決算報告書並びに通帳、会計帳簿、支払い等証拠書類を監査したところ、いずれも正確で事実と相違なかったことを報告します。

平成27年3月21日

愛知県自然観察指導員連絡協議会

監事 柳原 靖

河江 喜久代



第5号議案 平成27年度予算 (H27年2月1日～H28年1月31日)

収入

科目	予算額	26年度予算額	差引	備考
会費	805,000	805,000	0	会員400名 家族10名分(@2000×400+@500×10)
保険料	120,000	120,000	0	保険料(観察会徴収分@40×3000人分)
寄付金	2,000	2,000	0	
受託還元金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	1,839,076	1,756,052	83,024	
合計	2,766,076	2,683,052	83,024	

支出

科目	予算額	26年度予算額	差引	備考
自然観察会費	120,000	120,000	0	保険料(@40×3000人)
調査費	20,000	20,000	0	
研修会費	200,000	100,000	100,000	○研修会4月、10月に予定 講師謝金、会場費等 ○8月末指導員講習会補助 ○交流の日(新人歓迎会も含む)運営費補助
機関誌作成費	370,000	360,000	10,000	発行回数年4回、編集会議、印刷代、送料、封筒代等
事務費	295,000	295,000	0	総会、理事会開催、HP運営、理事等事務費他
次期繰越金	1,761,076	1,788,052	▲ 26,976	
合計	2,766,076	2,683,052	83,024	